

漁海況情報

第626号(令和6年8月15日発行)

発行:山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

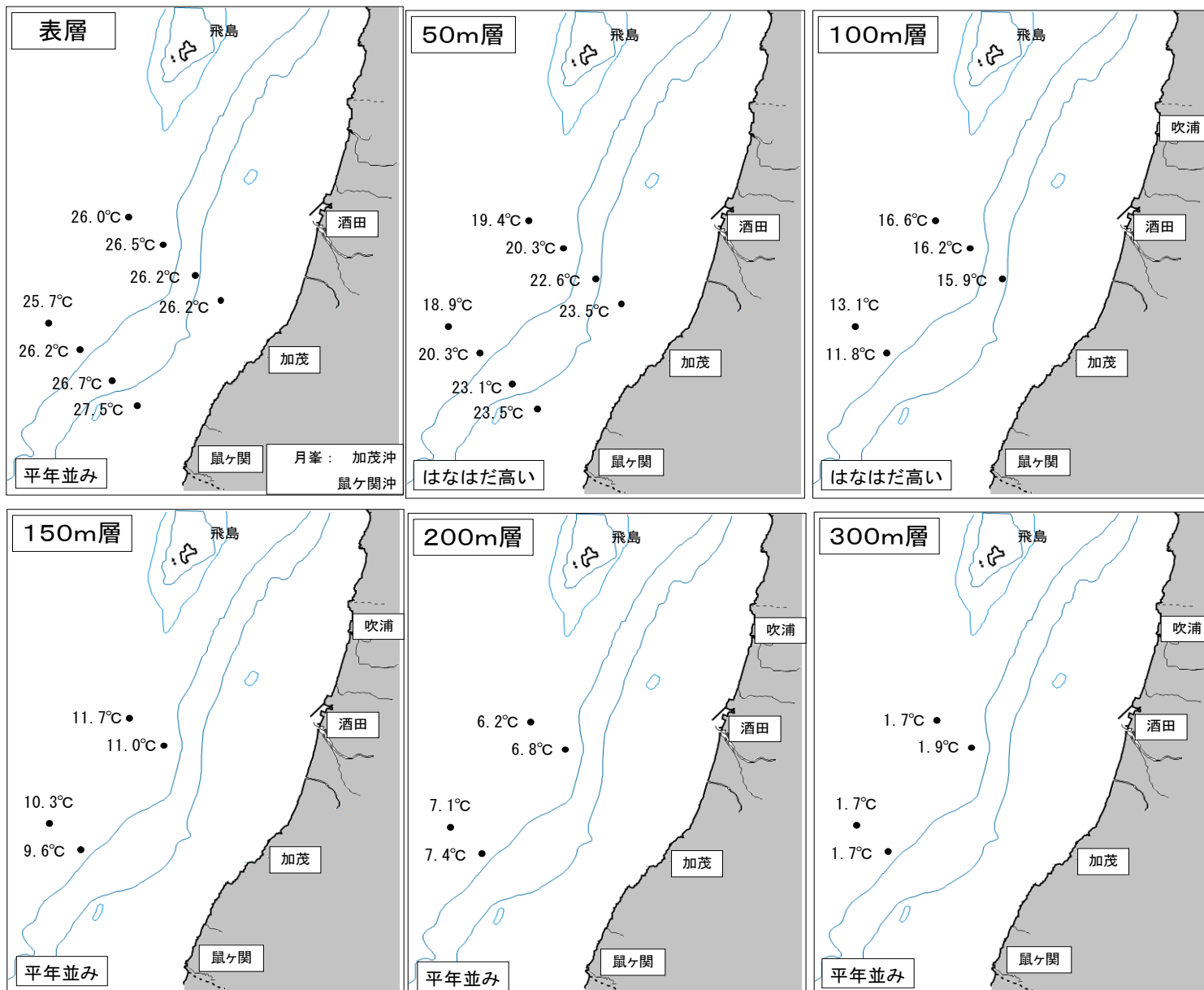
- 庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、8月1日に沿岸の水溫観測を実施しました。その結果、表層および150m層から300m層は「**平年並み**」、50m層および100m層は「**はなはだ高い**」でした。
- 7月の地先水溫は、鶴岡市加茂(水産研究所)では「**かなり高い**」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)では「**はなはだ高い**」でした。
- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、「2024年度日本海スルメイカ長期漁況予報(8月~12月)」を発表しました。
 - ・今期の全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
 - ・本州北部日本海では来遊量は前年および近年平均を下回る。漁場は近年と比べて形成されにくい。
 - ・沖合域では来遊量は前年および近年平均を下回る。漁場は近年と比べて形成されにくい。
- 8月8日現在、大型クラゲは本県沿岸域では確認されていませんが、対馬海域では出現が続いているほか、九州~新潟(佐渡島)の広範囲において入網しています。今後の情報にご注意ください。

沿岸25海里定点各層別の平均水溫(8月上旬観測値)

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	26.4	21.4	14.7	10.7	6.9	1.7
前年差	-2.4	+3.1	+0.2	-0.8	-2.0	-0.1
平年差	+0.5	+4.2	+2.0	+0.2	-0.1	-0.2
評価	平年並み	はなはだ高い	はなはだ高い	平年並み	平年並み	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(やや高い)	(やや低い)	(平年並み)	(かなり高い)	(平年並み)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



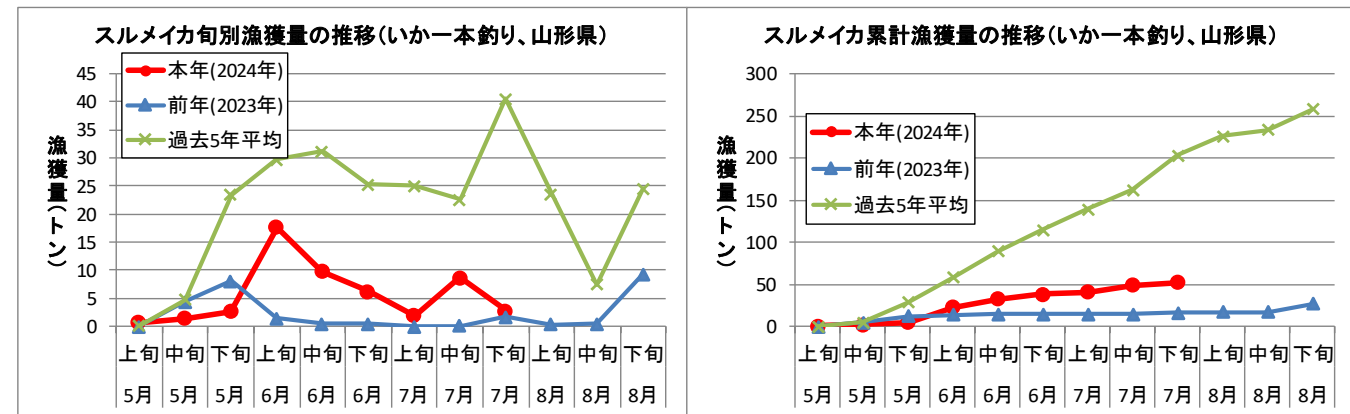
地先平均水溫(7月)

単位:°C

場所	水溫	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	25.1	-0.7	+1.4	かなり高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	24.4	+0.2	+1.8	はなはだ高い

1 沿岸スルメイカ漁(小型いか釣り)の状況

- ・5~7月までの本県の漁獲状況は、延べ259隻(前年比207%、平年比63%)、漁獲量51.9トン(前年比315%、平年比26%)で、前年よりは多い状況ですが、平年を大きく下回っています。
- (※「平年」は2019年から2023年の5年平均)



2 日本海スルメイカ長期漁況予報

国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、7月31日に、「2024年度 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(8月~12月)
- 今期の全体の来遊量
 - ：前年および近年平均を下回る。
- 本州北部日本海側
 - ・来遊量：前年および近年平均を下回る。
 - ・漁場：近年と比べて漁場が形成されにくい。
- 沖合域
 - ・来遊量：前年および近年平均を下回る。
 - ・漁場：近年と比べて漁場が形成されにくい。

※近年平均は直近5年間(2019年~2023年の平均)

3 大型クラゲ情報

- 西日本では長崎県対馬(定置網)を中心に大量出現が確認されており、8月15日時点で新潟県佐渡島まで、広範囲にわたって出現が続いています。
- サイズは小型が中心ですが、今後大型化するに伴い被害が大きくなる可能性があります。
- 今年では出現が早く、多い状況です。
- 過去の九州および山陰の初認日から予測した山形県沿岸の出現日
8月17日~8月26日
- 水産研究所では引き続き大型クラゲのモニタリング・情報収集と提供を実施していきます。



7月の漁況

○延べ操業隻数は1,069隻で前年比44%、総漁獲量は112トンで前年比36%でした。
 ○採貝藻漁業の漁獲量は21トンで前年比58%でした。イワガキ、アワビ、サザエ、イガイ、イギスおよびモズクは前年を下回りました。(イワガキは「その他の漁業」を含む)。
 ○定置網漁業の漁獲量は5.8トンで前年比51%でした。ブリ類、サバ、ウマヅラおよびトビウオは前年を下回りました。
 ○はえなわ漁業の漁獲量は2.5トンで前年比36%でした。タイ類、ブリ類、ノドグロ(アカムツ)、メバル類およびフグ類は前年を下回りました。
 ○その他の漁業では、いか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、サザエ、キス、あまだいさし網漁業のアマダイ、ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のメバル類、かご漁業の浅海性バイ類およびばいかご漁業の深海性バイ類は前年を下回りました。

* 前年比は令和元年～令和5年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	138	131	191	54	136	86	55	278	1,069	61%	44%
漁獲量	6,853	4,292	30,785	41,818	11,196	4,836	1,274	10,929	111,981	67%	36%
前年比	84%	61%	67%	77%	63%	41%	86%	55%	67%		
前年比	76%	37%	22%	66%	52%	30%	42%	24%	36%		

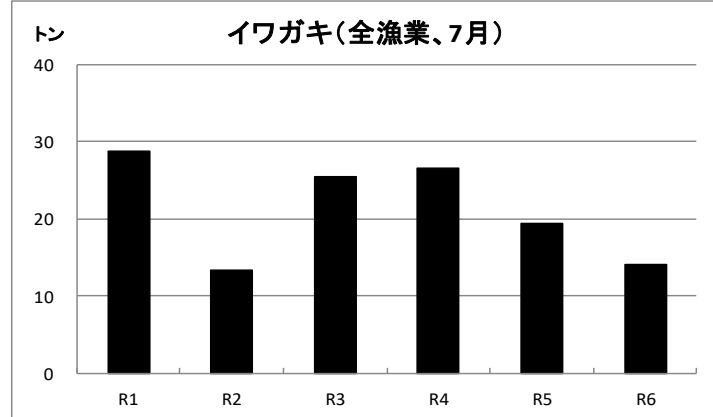
採貝藻漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	106	110	45	28	65	27	31	198	610	70%	57%
イワガキ	5,134		2,552	851	1,894	496	121	3,029	14,075	72%	62%
アワビ	13	4	9		3	12		3	43	71%	46%
サザエ		2,593	28	217	512	259	509	2,148	6,264	69%	72%
イガイ					40		21		61	7%	3%
イギス				20	175			176	371	72%	62%
モズク				12	132	33	79	32	287	143%	16%
その他					19				19		
計	5,146	2,597	2,589	1,100	2,773	799	730	5,386	21,119	69%	58%
前年比	77%	55%	47%	79%	77%	67%	122%	78%	69%		
前年比	72%	81%	40%	31%	50%	44%	44%	74%	58%		

※当所の採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

定置網漁業

支所	加茂	由良	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	3	9	12	57%	30%
ブリ類	624	798	1,421	54%	45%
アジ	1,117	2,048	3,165	157%	103%
サバ	22	65	86	6%	4%
ウマヅラ	5	22	28	19%	13%
トビウオ	13	5	18	14%	6%
その他	170	879	1,049		
計	1,950	3,816	5,766	80%	51%
前年比	173%	64%	80%		
前年比	190%	50%	51%		

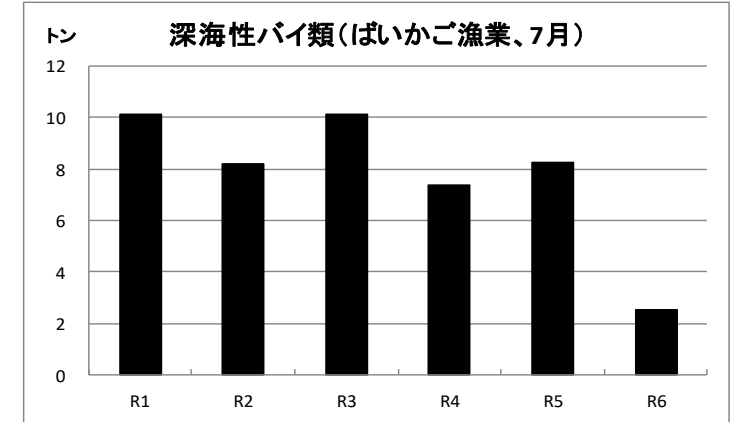
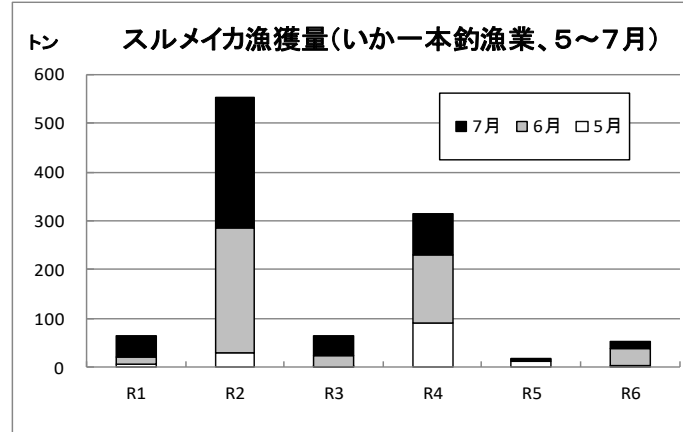


はえなわ漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	11	5	2	2	4	9	8	6	47	35%	28%
タイ類	49			21		16	16	6	107	17%	22%
ブリ類		27	5						32	130%	49%
ノドグロ(アカムツ)			1				10	13	24	3%	5%
メバル類		121					2.6	29	152	15%	26%
フグ類	214	16	1			26	159	186	603	39%	53%
その他	176	494	14	25	364	349	90	104	1,616		
計	439	658	21	45	364	391	278	338	2,534	37%	36%
前年比		80%	3%	23%	29%	32%	53%	16%	37%		
前年比	646%	36%	4%	35%	45%	50%	29%	18%	36%		

その他の漁業

漁業種類	いか一本釣り漁業	さし網漁業				あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	18	39				16	40	90	74	6
総漁獲量(kg)		443				1,619	13,232	1,549	8,986	
前年比		10%				30%	46%	67%	52%	
前年比		5%				31%	41%	40%	69%	
対象魚種	スルメイカ	ネジリ(ウシノシタ類)		サザエ	キス	アマダイ	タイ類	メバル類	浅海性バイ類	深海性バイ類
漁獲量(kg)	13,380	71		77	17	1,395	11,501	12	8,911	2,542
前年比	758%	14%		5%	31%	30%	45%	3%	52%	31%
前年比	15%	10%		3%	4%	31%	41%	1%	69%	29%



最上丸の調査予定(8月中旬～9月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・マガレイ等の稚魚調査を行います。
- ・明石礁の魚群分布・海藻植生調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
 よろしくお願ひします。

